

令和 8 年度 第 1 回港北地域学「外国人住民と共に輝く地域づくり」

【実施報告書】

日 時: 令和 8 年 7 月 5 日 (日) 13:30~15:30

会 場: 横浜市大豆戸地域ケアプラザ(大豆戸町 316-1) 協 力: 港北国際交流ラウンジ

参加者: 17 人 <内訳> 20 代以下 2 人、30 代 2 人、40 代 2 人、50 代 7 人、60 代 4 人



港北国際交流ラウンジの活動紹介



多文化ママカフェの紹介



日本語教室ボランティアのお話



日本語教室学習者のお話



やさしい日本語ワークショップ



<実施内容>

●港北国際交流ラウンジ活動紹介

●外国人住民とスタッフ・ボランティアのお話

① 多文化ママカフェ (スタッフ/参加者)

船越麻澄さん / Nenden Nurlaela Sari さん (インドネシア)

② 日本語教室 (ボランティア/学習者)

澤英彦さん / ゴシミン さん (中国)

●やさしい日本語ワークショップ

防災をテーマに「伝わるチラシ」をつくってみよう!

<感想など>

本講座は、外国人住民を「支援される人」ではなく、地域を共につくる仲間として捉えてもらうことを目的とし、国際交流ラウンジの活動紹介で概要を学んだ後、実際に活動している人や外国人住民の体験談を聞き、さらに「やさしい日本語」のワークショップを通して、自分にできることを考える構成としました。実践者には事前に講座の趣旨を共有したことで、「外国人も地域の一員である」というメッセージが参加者に強く伝わりました。また、参加者 17 人のうちには高校生も含まれており、多世代が共に学び、交流する機会となりました。アンケート結果からは、講座を通じて、地域ボランティアへの参加、外国人住民との交流、防災活動への関心など、地域での具体的な行動につながる意欲が見られました。港北地域学の目的である「地域での一歩を踏み出すきっかけづくり」に一定の成果があったと考えられます。

以上 担当: 白石